

子宮内容除去術 入院計画表

入院日: _____ 年 _____ 月 _____ 日

様主治医: _____

病棟: _____ 棟 _____ 階

担当看護師: _____

病棟責任者: _____

症状説明: 内診台のように両足を上げた状態で子宮内容物(流産組織)を掻き出す手術です。
手術時間は約30分程度で麻酔は静脈麻酔で行います。

退院基準: ・歩行時にめまい・ふらつきを認めない ・出血がナプキンに1/3以下である
・腹痛がない、または痛み止めを飲めば軽減する

	外来 /	入院～処置前	処置中	処置後～退院
検査・治療・処置	●血液検査・心電図検査を行います。	●子宮の入り口を拡げるための処置を行います。 (海藻成分の細いスティックを使用します)	●心電図シールをつけます。 ●血液中の酸素濃度を測る機械を指につけます。→ ●血圧を測る機械を腕にまきます。————→	●処置終了後、心電図のシールをはずします。 ●処置終了後、機械をはずします。 ●処置終了後、機械をはずします。 ●処置後、約2時間後に退院診察があります。
薬剤		●点滴を始めます(左手) (特殊な針ですので腕を動かしても大丈夫です) ●痛みがあるときは遠慮せずおっしゃってください。	●処置は静脈麻酔下にて行います。 ●処置終了時に子宮収縮剤の注射をします。	●点滴終了後、抜針します。 ●子宮収縮剤 5日分 ●抗菌薬 5日分 ※夕食後より、1日3回内服していただきます。
安静度		●病棟内を自由に行動できます。	●処置室へ移動していただけます。 ●内診台にのっていただけます。	●処置終了後、ストレッチャー(搬送用のベッド)で帰室します。 ●ベッド上で寝たままの状態ですが、寝返りはしていただいて構いません。 ●処置後約1時間後、歩行していただけます。 (看護師が付き添います)
全身管理		●入院後に検温を行います。	●処置中、6～7回検温を行います。	●処置終了後30分後・初回歩行時に、検温を行います。
清潔				
栄養		●朝から飲んだり食べたりできません。 ●特別な栄養管理(<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無)  		●麻酔から覚めたら、飲んだり食べたりしていただいて構いません。 
説明 指導 教育	●処置について説明があります。 ●処置の必要物品 ・スリッパ・生理用ショーツ ・ナプキン・パジャマ ・同意書 ・入院費用	●オリエンテーション ・病棟案内 ・処置前後の経過 ●薬剤師による服薬指導があります。	●処置中、痛みがあれば看護師にお知らせください。 ●処置は30分ほどで終了します。 	●退院診察後に看護師より、退院後の生活についてのお話をさせていただきます。 ●避妊について、助産師よりお話をさせていただくことがあります。 ●次回の外来受診日は 月 _____ 日です。 

トイレに行きたいときは
声をおかけください

上記内容について説明を受けました。 お名前 _____ (署名)